

【別紙様式】

<p>裾野市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	赤十字病院医療機器整備費補助金		
総事業費 (千円)	10,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	10,000千円
事業概要	<p>①目的 令和2年度から引き続き、一般外来や入院患者の減少といった影響を考慮し、また継続的な医療体制のサポートをするため、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止や患者受入れに必要な設備や物資等を購入する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 補助金：10,000千円 ・酸素流量計 155,100円、車椅子105,000円、学会費及び旅費 72,020円、通信関係費 317,900円、保険料 23,000円、点検・修繕費等 1,423,170円、抗原検査病院負担分 492,800円、感染症作業手当等 5,599,010円 PCR検査委託費 1,284,800円、その他消耗品 2,354,891円 計 11,827,691円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 裾野赤十字病院  2) 交付対象者の選定理由・選定方法 新型コロナウイルス感染患者を受け入れる病院の医療体制サポートを目的とするため。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の継続的な医療体制サポート、院内感染防止・患者受け入れの際に必要な設備や物資の確保による運営の継続。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>令和2年度に引き続き、医療物資の品薄、新型コロナウイルスに対する安全の確保をするための医療体制への影響を鑑み、継続的なサポートをする必要がある。特に市内の救急医療に関しては裾野赤十字病院にかなり依存しているため、院内感染対策等を支援し、急性期の医療体制のサポートもする必要があり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		